

## Japan-Expertプログラム(ヘルスケアコース)入学後の学生における標準履修モデル

	1年		2年		3年		4年		単位
	秋期	春期	秋期	春期	秋期	春期	秋期	春期	
基礎科目	Japan-Expertファーストイヤーセミナー(1) <b>日本語(15)</b>		総合科目(学問への誘い含む)(3)						19
			体育実技(柔道 1、弓道 1)						2
			英語(4)						4
			情報リテラシー(講義・演習)(2)、データサイエンス(2)						4
			看護学類以外の開設科目(9以上) 第2外国語、化学概論、物理学概論、生物学序説、心理学類、障害科学類、体育専門学群、人文学類及び比較化学類開設科目のうち「哲学、倫理学、宗教学」分野に対応する科目、哲学通論						9
			Japan-Expert共通科目(他コースの共通科目より選択)(1)						1
専門基礎	人体機能学(2)、人体構造学(2)、医学史(1)、医療生命科学とテクノロジー(1)、生涯発達と家族支援(2)、日本国憲法(2)		人間関係論(1)、心の健康と相談活動(1)、行動科学(1)、コミュニティ・エンパワメント論(1)、人体の代謝と栄養(1)、臨床薬理学(1)、遺伝と健康(1)、微生物学(2)、保健統計学(2)、疫学(2)、障害理解(1)		看護専門英語(2)、保健医療福祉行政論I・II(2)、国際保健学(1)、医療経済学(1)、環境保健(1)				31
			Japan-Expert総論(1)						11
専門科目	看護学類以外の開設科目(選択 10) 知識情報概論、知識情報システム概説、社会福祉経営論、文化・開発論、国際学、社会保障論、情報社会と法制度、コンピュータシステムとネットワーク、等								
	基礎看護学概論(1)、看護生命倫理(1)、公衆衛生看護学概論(2)、高齢者看護学概論(1)、精神看護学概論(1)		基本看護技術(1)、基本看護技術演習(3)、フィジカルアセスメント(2)、看護方法論(1)、職域における保健活動(1)、臨床看護学概論(1)、疾病の成り立ちと回復促進(2)、精神看護方法論(2)、ウイメンズヘルス看護学概論(1)、小児・発達看護学概論(1)、子どもの健康と障害(1)、国際看護学(1)		臨床看護方法論(2)、高齢者看護方法論(2)、母性看護方法論(2)、小児・発達看護方法論(1)、在宅看護概論(1)、在宅看護方法論(1)、ヘルスプロモーションと看護(1)、家族病理とメンタルヘルス(1)、看護マネジメント(1)、災害看護学(1)、研究方法概論(2)		看護学探求概説(2) <b>国際ヘルスケア演習(卒業研究)(6)</b>		46
			<b>国際ヘルスケア概論(1)</b>		<b>ヘルスケア実習I(介護施設)(4)</b> <b>ヘルスケア実習II(医療施設)(4)</b>				9
単位数	16	35程度	40程度		22	16		136	

就職先

ヘルスケア分野の政策・管理・企業のおよび研究者等、  
さらには健康関連企業での活躍

自主学習 初年次教育の日本語学習に加え、卒業時まで「CEGLOC日本語教育プログラム」の履修が可能  
⇒就業力のある日本語能力の獲得のため4年間継続して学習

- ・日本語を徹底的に履修(4年間通した日本語学修【CEGLOCの日本語教育】が可能)
- ・Japan-Expert総論(共通専門基礎科目)を設け、1年次春又は秋から履修
- ・各プログラムからの推奨科目を集めたJapan-Expert共通科目(基礎科目・関連科目)を設け、1年次春又は秋から履修
- ・国際ヘルスケア概論、国際ヘルスケア演習を新設